

令和7年度 第3回 学長選考・監察会議議事要録

日 時：令和7年7月24日（木） 15：00～15：58
場 所：オンライン会議（Teams）
出席者：佐々木委員（議長）、飯塚委員、尾崎委員、沼田委員、原口委員（人文社会科学部長・人文社会科学野長）、勝二委員（教育学部長・教育学野長）、岡田委員（理学部長・基礎自然科学野長）、乾委員（工学部長・応用理工学野長）、宮口委員（農学部長・応用生物学野長）
欠席者：大谷委員
監事監査規則第9条第2項による出席者：人見監事、白田監事

議 題 審議事項

- 1 学長の業績評価について
- 2 学長候補適任者意向聴取委員会委員の選出について

議 事 概 要

I 議事要録の確認

議長から、令和7年度第2回の学長選考・監察会議議事要録について、事前に各委員に確認いただき、大学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

II 審議事項

1 学長の業績評価について

議長から、令和7年度（評価期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日）における学長の業績評価を行うため、学長によるプレゼンテーション及び質疑応答並びに委員による意見交換を行いたい旨発言があった。

次いで、事務局から資料1に基づき、プレゼンテーションの進め方と今後の評価書作成に係るスケジュールについて説明があり、各委員において、令和7年8月6日（水）までに評価書を作成の上、総務部総務課に提出することが確認された。

その後、学長によるプレゼンテーション及び質疑応答等が行われた。

【主な質疑応答】○委員 ●学長

○ 科研費採択件数の伸び悩みについては、様々な対策を講じているにもかかわらず、直近だけでなく、ここ数年間の傾向として現れている状況があるが、一方で、受託研究が順調に伸びているなど、研究力自体が低下しているわけではない。

伸び悩みの要因として、例えば若手研究者の申請書作成のサポートなど、研究の本質ではない環境整備の面で課題などはないか。

● 若手研究者に関しては、研究のエフォートを確保し、採択にもつながっていると思っているが、中堅以上の研究者の研究時間の確保が課題だと感じている。

特に、ピアレビューによる審査となる科研費においては、各研究者が所属する学会でのアピールが重要であり、学会での活動等のサポートも必要だと感じている。

- 令和6年度から、学生支援を総合的に行う「スチューデントサクセスセンター」を設置したとのことであるが、学生の利用状況を教えていただきたい。
また利用学生からの声などが届いていれば、併せて伺いたい。
- 時期により各窓口の利用状況が異なるが、特に4月においては、新入生による「フレッシュマン・サクセス」の窓口利用が多いと聞いている。また、学生サポーターの配置やラウンジの設置など、留学の検討などの場面でも学生が身近に相談しやすい環境となっており、各窓口を一か所に集中させたことで、必要なサポートがすぐ提供できる体制となっている。
現時点では、ある程度意図したことが機能していると考えているが、引き続き、学生の利用状況を把握しながら、体制を整備していく。
- 国際交流に関して、令和6年度は新たに9の大学等との協定を締結し、コロナ禍で縮小していた学生交流等の拡大に向け、非常に積極的な取組がみられたが、今後、こうした活動の維持、発展を通じた大学の国際化に関しては、どのような見通しを持っているか。
- コロナ禍後の国際化の方向性としては、各学部・学野における具体的な連携の取組を念頭に置いた形での協定の締結を行っており、例えば、台湾の日本人学校との協定に関しては、教育学部との教員養成に係る連携を見据えたものとなっている。
今後は、各学部・学野における教育研究における国際化の戦略を踏まえ、具体的なターゲットを定めて展開していくことを基本としつつ、全学的な取組として位置づけるべきプログラム等については、各学部・学野と協議して進めていきたい。
- 寄付金の獲得について、2019年度（令和元年度）に大きく実績を伸ばしているが、その後は伸び悩んでおり、その要因があれば伺いたい。
- 2019年度（令和元年度）は本学が70周年を迎えた年であり、当該年度の寄付金の実績については、記念事業の実施など各理事が様々な企業にご説明し、ご賛同いただいたものである。
その後は、企業の方にリーチできていない状況があるが、令和7年度から「イバダイ・サステナ・パートナーズ」という校友会組織を設立し、卒業生や企業の方との繋がりを強化することで、寄付金の獲得拡大につなげていきたい。組織の名称についても、本学が目指すサステナビリティ社会の実現というビジョンに共感していただき、その実現に向けて支援していただくことを狙いとしたものである。

2 学長候補適任者意向聴取委員会委員の選出について

議長から、学長候補適任者意向聴取委員会委員の選出について、資料2に基づき審議願いたい旨提案があり、次いで、事務局から資料の説明があった。

併せて、議長から、茨城大学学長選考における意向聴取実施要領第2条第1項第1号に掲げる委員の選出については、学長選考・監察会議学内委員5名を選出することについて提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

Ⅲ 報告事項

なし

その他

次の開催は令和7年10月を予定。